

# Newsletter

— 学 会 会 報 —

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## 〈 目 次 〉

〈 常任理事会開催報告 〉

〈 理事会報告 〉

I. 各種委員会報告

II. 審議事項

III. 事務局報告

〈 事務局からのお知らせ 〉

参考：国際文献印刷社 会社説明

## — 〈 常任理事会開催報告 〉 —

**[2011 年 2 月 11 日 (土) 14:00~16:30 (於) 東北大学東京分室]**

定例理事会に先立ち、2 月 11 日 (土) に常任理事会が開催されました。14 時から 16 時 30 分まで、東北大学東京分室で行われ、常任理事 6 名、幹事 1 名、および事務局 2 名が参加しました。主に学会事務機能の一部外部委託について審議され、3 月 3 日 (土) の定例理事会に向けた提案の骨子を決定いたしました。

## — 〈 理事会報告 〉 —

**[2012 年 3 月 3 日 (土) 14:00~17:00 (於) 早稲田大学早稲田キャンパス 16 号館 612 教室]**

定例理事会が 3 月 3 日 (土) 14 時から 17 時まで、早稲田大学早稲田キャンパス 16 号館 612 教室で開催されました。理事 14 名、および事務局 2 名が参加しました。代表理事の挨拶を経て、下記の議題を審議・決定いたしました。

### I. 各種委員会報告

#### (1) 紀要編集委員会報告

倉本哲男委員より、『カリキュラム研究』第 21 号への投稿論文と掲載論文についての報告があった。紀要編集委員会事務局の移転に伴う印刷会社変更について報告がなされた。

(2) 研究奨励賞審査委員会報告

倉本哲男委員より、今年度の学会研究奨励賞について該当者なしの報告がなされた。同時に、学会研究奨励賞の審査方法改善に関する話し合いも行われた。

(3) 研究委員会報告

天笠茂副委員長より、第3回研究集会に関する周知・報告がなされた。

(4) 国際交流委員会報告

磯田文雄委員長より、課題研究Ⅳについての報告があった。

(5) 広報委員会報告

大野栄三委員より、1月20日開催の岩手県教育委員会との連携事業の報告がなされた。また、今後の「日本カリキュラム学会連携事業」の方向性について説明があった。

(6) 新カリキュラム事典編集準備委員会報告

小泉祥一委員より、『現代カリキュラム事典』の改訂について、基本方針と今後の改訂作業の進め方の提案・報告がなされた。

## II. 審議事項

(1) 第23回大会（中部大学）について

次期大会準備委員会委員長である豊田ひさき理事より、第23回大会に関して、大会一次案内（案）をもとに提案がなされた。現段階における大会概要、公開シンポジウム、課題研究Ⅰ～Ⅳの案は下記の通りである。

<大会概要>

□前日 2012年7月6日（金）17:00～19:00 理事会+理事懇親会(名古屋市内ホテル)

□第1日 2012年7月7日（土） 9:30 受付

会場：中部大学現代教育学部（70・71・72号館）ほか

10:00~12:00	課題研究Ⅰ	課題研究Ⅱ
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:15	自由研究発表Ⅰ	
15:15~15:30	休憩	
15:30~18:00	公開シンポジウム	
18:00~18:30	移動	
18:30~20:30	研究交流会	

□第2日 2012年7月8日(日) 9:30~受付

会場：中部大学現代教育学部(70・71・72号館)ほか

10:00~12:30	自由研究発表Ⅱ	
12:30~13:30	総会・昼食	
13:30~15:30	課題研究Ⅲ	課題研究Ⅳ

□大会参加費 正会員：3,500円、学生会員：2,500円、臨時会員：3,500円

<公開シンポジウム>

□テーマ 「教師は教科書にどう向き合うか」

□司会 臼井嘉一(国土館大学)、豊田ひさき(中部大学)

□シンポジスト 安彦忠彦(早稲田大学)、長尾彰夫(大阪教育大学)、小笠原豊(中部大学)

<課題研究Ⅰ>

□テーマ 「カリキュラムの研究・開発・実践をめぐる行政と経営」

□司会 田村知子(中村学園大学)、及び1名を交渉中

□提案者 村瀬光生(前船橋市立若松小学校校長)、及び3名を交渉中

□コメンテータ 富士原紀絵(お茶の水女子大学)

<課題研究Ⅱ>

□テーマ 「民主主義社会の(再)構築に向けたカリキュラム論の探求(1):D.マイヤー著『学校を変える力』の合評を通して」

□司会 松下晴彦(名古屋大学)、澤田稔(上智大学)

□提案者 生澤繁樹(上越教育大学)、上野正道(大東文化大学)、米村まろか(愛知産業大学)

□指定討論者 遠藤貴広(福井大学)

<課題研究Ⅲ>

□テーマ 「学校におけるカリキュラム改善の課題と展望」

□司会 佐藤真(兵庫教育大学)、西岡加名恵(京都大学)

□提案者 木原俊行(大阪教育大学)、倉本哲男(佐賀大学)、及び1名を交渉中

<課題研究Ⅳ>

□テーマ 「教員養成の国際的動向」

□司会 磯田文雄(東京大学)、橋本美保(東京学芸大学)

□提案者 八田幸恵(福井大学)、富田福代(大阪教育大学)、庄井良信(北海道教育大学)、三石初雄(東京学芸大学)

<大会に関する問い合わせ先>

【事務局】日本カリキュラム学会第23回大会実行委員会

中部大学現代教育学部深谷圭助研究室気付

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 電話番号(0568)51-9335(研究室直通)

深谷圭助 Email: [chubu23@isc.chubu.ac.jp](mailto:chubu23@isc.chubu.ac.jp)

(2) 大会における発表資格について

大会における発表資格について検討され、以下の取り決めがなされた。

「登壇する口頭発表者（○の付く人）は、同一大会において、個人研究1件と共同研究1件の合計2件まで申請することができる。ただし、登壇者でなければ、重複して発表者名を登録することは可能である。」

(3) 学会事務機能の一部外部委託について

水原克敏代表理事より、学会事務機能の一部外部委託の詳細について提案・説明がなされ、理事会の承認を得た。委託先は（株）国際文献印刷社に決定した。また、今後の可能性としてホームページの運営委託が議題にのぼり、それに伴い学会発行物（会報等）のペーパーレス化等が今後の検討議題となった。

<参考資料：（株）国際文献印刷社 経歴書>

経歴書	
社名	株式会社 国際文献印刷社
創立	1951年7月17日
代表取締役	代表取締役社長 笠井 健
資本金	10,000,000円
売上高	平成17年度 7億8千万円 平成18年度 8億3千万円 平成19年度 8億8千万円 平成20年度 9億円 平成21年度 9億5千万円
従業員数	90名
取引銀行	三菱東京UFJ銀行 りそな銀行 日本政策金融公庫 商工中金
福利厚生	各種保険・退職金制度・社宅（民間アパート借上げ）制度・社員旅行 レクリエーション有
本社工場	東京都新宿区高田馬場4-4-19 169-0075 tel 03(3362)9741 fax 03(3368)2827 URL: <a href="http://www.bunken.co.jp/">http://www.bunken.co.jp/</a>
第2工場	東京都新宿区高田馬場3-8-8 169-0075 tel 03(3367)6841
第3工場	東京都新宿区山吹町358-5
分 室	東京都新宿区高田馬場4-12-2

(4) 学会所有物の処理と紀要発行部数見直しについて

事務局保存資料の肥大化に伴い、これの整理作業を行うこととなった。紀要バックナンバーについては、一年間の販売努力の後、必要数を確保し、それ以外は処分を行うことが決定した。また、この見直し作業と紀要の電子化に伴い、これまでの紀要発行部数1000部を850部に削減することが提案され、理事会の承認を得た。

(5) 学会運営について

2012年4月1日以降の事務局体制として、事務局長に富士原紀絵(お茶の水女子大学)、幹事に根津朋実(筑波大学)が承認された。また、理事会の在り方についても検討がなされ、定例理事会と常任理事会の両方を機能させていく方針で合意を得た。

### Ⅲ. 事務局報告

(1) 会員現況報告(2012年2月23日時点)

会員総数 738 名 (一般会員 638 名、学生会員 90 名、団体会員 9 件)

※不明者 6 名、会員資格停止者 69 名を含む。

2011年11月1日～2012年2月23日までの新規入会者1名(下表参照)、退会申込者14名(うち退会受理10名)、新規連絡先不明者1名、会員資格復活者2名であった。

<新規入会者>

	入会月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	12月5日	牧田守弘 (マキタリヒロ)	早稲田大学大学院教育学研究科	学生	事務局

(2) 寄贈図書報告(2012年2月23日時点)

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	幼児期と自動機の接続カリキュラムの開発～子どもの育ちと学びをつなぐために～	善野八千子、前田洋一	Mj-Books	2011年11月
2	パフォーマンス評価入門―「真正の評価」論からの提案	ダイアン ハート(著)、田中 耕治(監訳)	ミネルヴァ書房	2012年2月
3	プロジェクト活動: 知と生を結ぶ学び	田中智志、橋本美保	東京大学出版会	2012年2月
4	学校選択のパラドックス: フランス学区制と教育の公正	園山大祐	勁草書房	2012年2月
5	ニューカマーの子どものいる教室: 教師の認知と思考	金井香里	勁草書房	2012年2月

— 〈 事務局からのお知らせ 〉 —

(1) 平成 24 年度 (2012 年度) 分会費に関して

これまで会報等で重ねてお知らせしてまいりましたが、平成 24 年度 (2012 年度) より、年会費が一般会員 8,000 円、学生会員 5,000 円に変更となりますので、ご注意ください。団体会員は 10,000 円に変更ございません。

年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりますと同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失います。皆さまの会費納入状況は、宛名ラベルのお名前の下に記載しております。未納年度が記載されている方は、お早目のご納入をお願い申し上げます。なお、事務処理上、ラベル記載情報と実際の納入状況に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。

事務局では、年会費について、以下の方針で手続きを行っております。①年会費の年度指定がない場合や、年度指定があってもそれ以前に未納年度がある場合→未納年度の内、最も早い年度の年会費として繰り上げ。②当該年度まで完納いただき、さらにお振り込みがあった場合→次年度以降の会費として繰り越し (前納扱い)。

ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く事務局までお問い合わせください。よろしくお願い致します。

※2011 年度以前の年会費は、一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円です

(2) 事務局移転について

東北大学大学院教育学研究科内に設置しておりました事務局は、新年度 (2012 年 4 月 1 日) より、お茶の水女子大学文教育学部内に移転いたします。学会事務機能の一部外部委託に伴い、会員の皆様のご用件に応じて問い合わせ先等に変更がございますので、ご注意ください (詳細は同封の別紙参照)。※会費の振込先に変更はございません。

(3) 紀要バックナンバーの購入に関して

理事会報告Ⅱ (4) の通り、紀要バックナンバーの残部は一定数を除き 1 年後に処分致します。購入希望の方はお早めに事務局 (委託先) までお問い合わせください。

(※2012 年 3 月 31 日まで)

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL&FAX : 022-795-3755

振替口座番号 : 00880-0-69090

E-mail:jscs@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>